

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/03/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ホルムズ海峡封鎖で急伸

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台まで急伸する展開になった。2月28日に米国とイスラエルがイランに対する攻撃に踏み切ったが、軍事紛争の長期化に対する懸念を織り込む動きが強まり、2023年9月以来の高値を更新した。イランは周辺アラブ諸国の米軍基地を攻撃する一方、ホルムズ海峡の封鎖に踏み切った。このため、世界の原油流通に大きな混乱が生じ、短期的な需給の混乱が警戒されたことが、原油相場の急騰を促した。

ホルムズ海峡は原油のみで日量1,500万バレルが通過していたが、軍事紛争地域になったことで、タンカーの航行が事実上停止している。イラン軍がタンカーも攻撃対象にしているため、欧米保険会社は保険契約の提供を打ち切っている。トランプ米大統領は、米国際開発金融公社（DFC）による代替保険の提供、米海軍によるタンカー護衛などの対策を発表しているが、先行き不透明感を解消できていない。時間の経過とともに供給リスクの織り込みが強化される展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月20日時点）は、原油が前週348万バレル増、ガソリンが170万バレル減、石油精製品が43万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

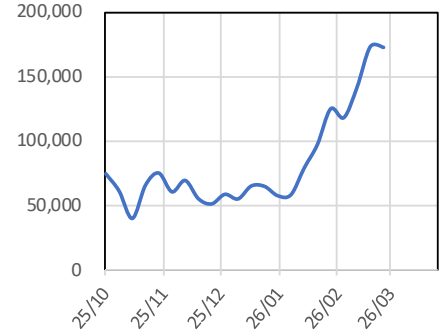
ホルムズ海峡封鎖続くと100ドル台も、イラン情勢次第の展開

ホルムズ海峡の封鎖がいつまで続くのかが焦点になる。原油だけで日量1,500万バレル規模の供給が減少すれば、時間の経過とともにそのショックは拡大していく。既に消費国では原油、石油製品に加えて、原油を原料とした素材の供給にも混乱が生じている。また、アラブ諸国は出荷難で在庫が積み上がっているため、生産調整に着手し始めている。こうした状態が続くと、原油相場は100ドル台に乗せて、一段高を打診する可能性がある。トランプ米大統領は戦闘が4~5週間続くとして、イランに対して無条件降伏を求めているが、こうした強硬姿勢が修正されるまでは、原油相場のピークアウトは先送りされる見通しだ。

一方、原油価格の高騰は世界経済見通しに大きな不確実性をもたらしている。ガソリン価格の高騰、インフレ再燃といった動きが強まると、トランプ米政権は中間選挙に向けて大きなリスクを抱えることになる。米世論調査でも、今回の軍事攻撃に対する支持は限定されている。原油高や株価急落を受けて、トランプ米大統領が戦闘終結に向けて動き出す、いわゆる「TACO」の兆候が増えると、材料出尽くし感から利食い売り優勢の展開になる可能性がある。その際は、前週の急伸地合の反動から、短期間で10~20ドル程度下げられる可能性がある。

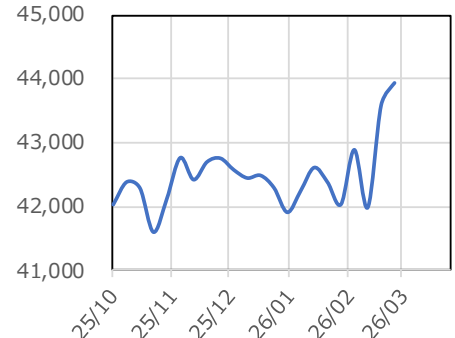
3月11日に石油輸出国機構（OPEC）、12日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が発表されることもイベントリスクになるが、イラン情勢の消化が最優先される。いつまでホルムズ海峡の封鎖が続くのか、それに対して消費国が備蓄放出などの対策を進めるのか、不確実性が大きいマーケット環境が続く。上下双方に大きめの値幅を想定しておく必要がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



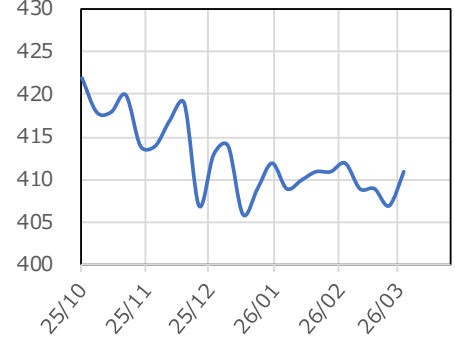
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

